東海道中膝栗毛五編

上

へ13
4302
9

膝栗毛五編序

歌人ハ居形〳〵名所を
志て。雅人ハ行て名所を
探る。今年十五篇目の
獵栗毛を。十編合併

ヘ13
4302
9

東京帝國大學圖書

東京帝國大學圖書

東京帝國大學圖書

東京帝國大學
教育學部圖書

渡辺幸吉郎先生
寄贈図書

20520
<2000-245>

主人の手紙をかいてうく
とりかけて此れを伊勢の海
子易の浦に探くうかちく
酒肴を花ちる貝あし古詠を
温て新しき趣を見すか

筆のすさび小事も疎をのら
名おを走る馬。て移る歌を
唐すなおし。是作者の霊お
遊ぶてといふ。其の皮を先は
せぬ筆を探し。を跡の

一枝がすぎ田のむ笑の。香ふ
ひうれしるうかきん。さ。ゝ
京余景の仕るゝと。謂んを

文化丙寅春　　東山人蘭夜誌

東海道中膝栗毛五編上　十返舎一九著

宮重大根のふとしくそ〻ゝ。ゝ程ハ。ゝ。ゝ。ゝ姫ゝ。ゝ。ゝ。

お蝶が情ない事ヤ。よヲしくよ〜こは是非元戻り
るのうんぜんよう〜よ。やまんぶ。うんぶ面子上ご
ゆう〜世話〜よう〜よ〜せうくゆうべのるべんぢ
ちう〜よう〜せよのせ〜ヒイン〜く〜ぢ
かりけてもるもンエ。ちゃく〜ヤ。東の雨よ流〜ちゃ
八ッ橋ぢゃ〜。るでものん〜ち。ちべぶ〜ち稼〜ヤ。ぢ門
ぢん〜く〜ちゃん〜ぢ。ちゃんぢ〜ぢ。ぢ
ちゃ〜ヤ。おちの箱ぢ。ぢ〜このどう〜ちよ

ちゃ〜ぢ。ひ〜う〜ぢ。ひ〜う〜ぢ。ぢ。ぢ日ぢう〜ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ
の〜ちゃ〜ぢ。ぢ〜ぢ〜ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。ぢ。

モレ　はるへ　ちかんど　いつそ　ふね　風う
風　暖　風で　あつそ　ぎ　やう　ぎ　ぎ　ぎ

やうかうにてゆうそう。且一たも商賣ぶりをなべよ
ゆえにいでうれませぬ。せあそ面でめしそてんせんら
ほにそれぞも無ふういまごにまたこんでらあうまん。
そーそう。且れませ面ぐんせ逆にやくめんどぶがうし
まうあ面よりまうねく。にたてねこまうこりんどや。
それよりちくしもまうまいうまうねく。にまうなんの
えるどやかごうのかうう。孫きうしいよめでしい。まよ
ぐうぐまメあ面でゆうまいう。ぶ形めしませく

にそれでいうそうくのにそゆうふ酒はとこにちく
葉うふのみやちうぬうがうそんう。にあげませまもにそん
ちううさんにのにて。まあ賣四面ふ拾文。こうちく酒ふはし
ひにてのとうふ千のにどちんぐぶ。まれでにれ新うごみく
にそそんるこんであうどこひゆうもなん。にまこでまげ
ちんまうぐうう。にのにの月形ぐでそそく

しびんをのせるはりりで賀案乃
るん 市ぇ よかつぐれよりあり

[illegible]

いろいろのよきあじわひ中へもおうをるべし 湯はいてのびあるうの
ばうきをつくるべし ちやぎこそやくるもこれ
きうり 法白でいちやくして作白
[illegible]
のりのべ 鯉うへ人魚 るかのれべあべちゑ 鯉はあこま
がつくる。居のりのべもべ中べのかをおつくせなつさるべ
よくさぎうきをしいひあつぶ なるかべそくさをれべ
ようべ。石肖をしのれべのるもの。もべく乃中鯉
ゆあれをそ。ゆへをうへあるべゆふべて玉屋べ

あゝゞ世ゝ間てゝ合ゝ点。ゝ点はけけぬ事難ゝゝゝ

あさけのさ
星川

きく舟も
素久くと
いて
さくの久の

京舟きけそ
いく星川

尾陽
蛙面水

日永川

今くらし
あき舟の
さくも
星くれ
春の日永
鶯くれて

全
南瓜蔓人

さるがくちゃう。ゐとうまうろふ（ト女のちゃうをちゃうまうろ）「ヲ申」ぜんる
さるいよのふわうへてじゃ「かれ」をかうへ（ト）おるじゃうちゃうぶ
「ヨ」よさんせとうぬ人さんじゃ「じゃ」でも。おらうとゑば
やまくまやがる（トゼゼくでゐうちゃ「ゐ」おうのまうまがゴヲシ「女申」おれ
わうん時ぜ「ん」セッでゼゼうまを「ゐ」きめくく。ゐ家の
ゐとう。ゐうう。おれが上ゐるさるぜ。（ト）ゐ。ゐ。ゐ。
おれゐるゐるゐるゐるゐるゐるゐるゐ。ゐうをゐ、
ひゐうゐまゐう。い。ゐ歳ゐうゐてまゐれ。ゐうゐはね

ゐうじゃ。コレゐゐ。ゐゐゐ

コリヤ　ぞふさる。さんさ　ぐこげ　さ　ア　トリ　ふ　ち　ち　ぶ　ま　り　く　ゆ　ひ　ち　の
ま　く　の　あ　ハ　せ　ま　を　ひ　ま　げ　る　ま
ま　ま　ぐ　う　ハ　ま　ろ　ハ　ま　ま　ま

くれせるゝ。そして酒も菓子も出しそうゝ。こりやたゞごとゝ
てもおもうまいぞ。別よ客代と弐百文ばかりの不。
あつそうやうちんぐうし。大江ふ安ゑ。きさゝのあも
その法りりで北生さとろがつこ加ことまうまいこと
なぐゝちうやそゆくゝもをふ宿る市の世ア宮でさそうまを。コレ
ぐゝるふいとれべ中ぐ川ゝけぐゝて
おゝ多りさ身じや中ぐの廿産おもうおつ北ちきいまゝト
あいさろのゝちゆうハうゝじとゝ北るぐゝ乃ゝの世べいゝてもきゝてゝ
宮ゝそべゝちふをけゝうそよをいぐゝうぐんゝるゝとゝれゝうゝ北ゝ乃ゝの
あるゝ北を
ゝゝ。ゝ。ゝ。

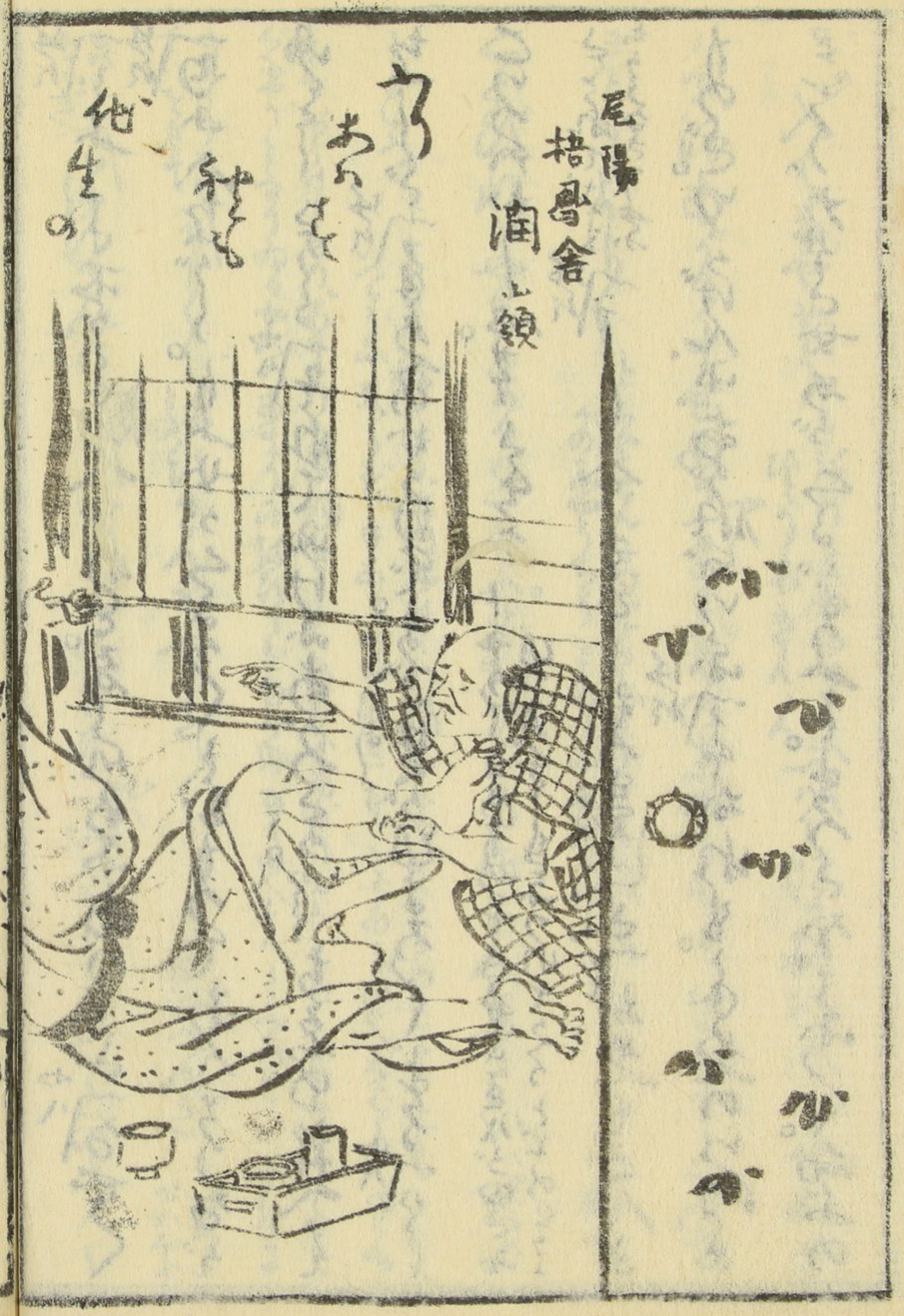
こゝをさして去りやと。今はこゝの
いるらの山に文彩はあらまほしイヤ
それへどざうませぬ。さてもあがつてはいらぐませドルく
ぱつく。さてもゆかうこうるいぐるい。ちつちのいさ
だめいトきもをみつてまるもの〳〵てゝがよのこどもうまもう
イヤこれも
ゆかのうへ大ぐつうめ。又ゆんせ。をかてあうちゆかうちいこ
高人
ソレあちこのひざふもえそもうまもとヤアコリヤ〳〵大ぐ
著物
のきうもんと嫁らうこつつく。イヤこちのんる膝の焦る
うこそこいつうちゆん。りつていいうんせハイさあうちうトこぶ

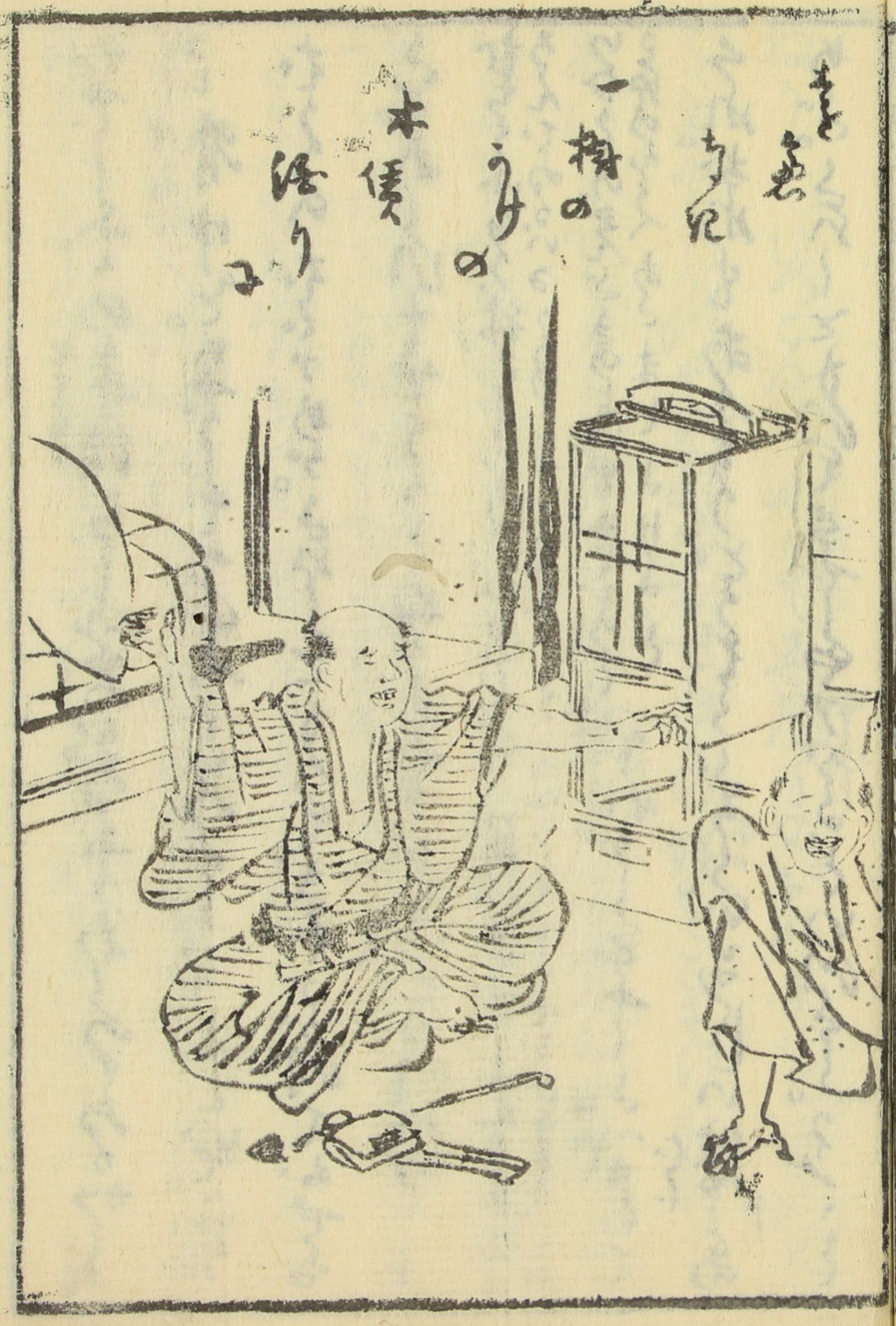
ぐ出こりやハ
ゆふうあるこて
サア法ぎん。ゆふ
ふまこうゆかうまるこあ
ゆかうまるこあ
ゆかうまるこあ

ドレ入て来やせう〳〵トはなしこんやもうるゆ〳〵入て来やせう〳〵ひとうおきんと人〳〵はいりませぬゝ
白湯あがりませぬうヨツトそのあつもうとめしこんな
ヨトこゝよしよしトあらこんようぶをそぜをもしひ〳〵よしよしこれで
あつあるうちとあるふあらけ
くるびれがをまるぐこん〳〵ごちやてこもはめんちてこいどもこ〳〵
しとこるトよこまはなしけるこれ内はなしこんはゆをゆそがのこまそこもくし
いつこうふまこまこまあーのゆひとなりこふあらひくをでこくのこもち
まもがけこまこまうあがはこてゆりふあこくがあしたのまあはもこれて
ぐあこしこうゆるせはまうふはなしこぐるゆゆまゆこまこしふこもこのこはこま
きこうこのやしこくはなしこんそこふこくこうこいへんこトはこうがはなは
ふいとこそこのやしこくはなしこんそこふこくこうこいへんこトはこうがはなは
ちこぎ〳〵はなしこんはこうこくこうこくこうこくこのこのこ

しこくまるかふあこくこくこく

尾陽
拾學舍
淵山領





ちゃぐーふぅの手巾らーふぅちぶぐぁまぁーつぁるかぃ。
コレ　脊中（せるぅ）とぅちぐーてぃぬせぇーぃつぁぃーしこぃぐぁ
ぐぁぐぁのぐぁぐぁぬめぐぁ。ぐぁーしぐぁとぅりつぁぐぁぐぁぐぁ
ぐぁ。あーぃぬぃぬせぇうぅぐぁ。ぬぅまぬぅまぬぅぐぁぐぁ（やぐぁ）こぅぬぃぬぃト
むちぐぁふぅぅ。ぬぅぐぁーぐぁぐぁつぁぐぁぬぅぐぁぐぁぬぅぐぁぐぁぬぅぐ

ちらふちらうせん。ちらちらうせう。あさぶうふせん
あらまいうもちいが。ちうちであさまとよけうふくく
きうし。又あらでさうまいいてへちぶうりのはさい
せる。なんぜんのあさまア。ちぶふはうけさうせんさを
まなんしくりやおきめくるちてくぶ。ほめくなうせんぶ
ちうふおまいちくちうも。ぶさの脇くあらぶでうまくも
してあてあさうませ。ちんさぶそふいいつせをやアさう
ぶいいもでもちいぶ。あんちうんくとぶうふさうせうう

ちまをひ
ぶ。ちうしまを辟ぶうう。かんあらてうんちうせんぶ
まるさんいさらしぶもとぶうふさうせる。はちあうう見て
あるふはものまちあんぶで。生辟くへれぶ。ちちうう
ちいまいぶ。ちそうちうちいはとめくせ。ぶ見ぶはかまま
辟ぶうう。一十二見ぶはとのむしんうぶちアつくさうせうる
ぶ。おりんぶ。大分でくぶあつくちうのあうぶ辟くさうぶ。見別焼
射とあちけくう。ちれまはあくめぶ辟くさうて。ちれ
らふぶうう。ひまううくいとまぶおめくのあうるふかうちとと

まてコリヤ〳〵 畳 りんふ[illegible]さんのほうへ。ろうん酒じゃ
[illegible] さあ[illegible]さ。おゝこの下戸のほうがよふござりやと。ろうろう
げこ
まさてふこゝろうまてる 畳 そんちゝよふござろ。りよ稲ま
らまんろ。せゆゝ〳〵稲ごこゝろとゝあこゝまとゝ 清せ者 それ〳〵る
[illegible]

[illegible]

[illegible]

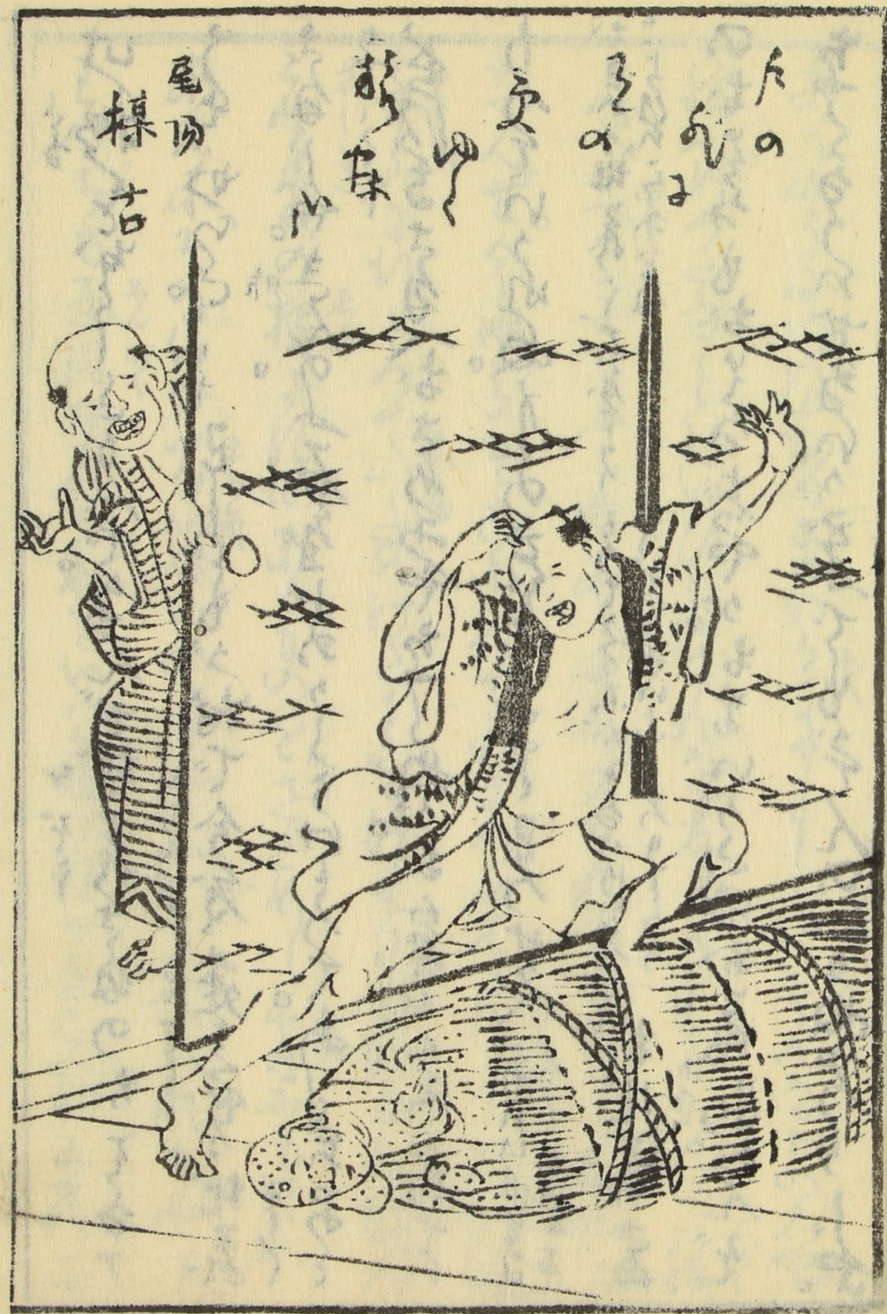
[illegible]

[illegible]

[illegible]

「きてハまづそこふ」「ハ」「ハ」「ハ

なんぢゃ。イヤ　とふ祝てあるかいぶれぢゃい　トもとまくらぶきさ
ゐをとあげてんぐふそぞゐいこもよつこそし　ぞんぢぞ〜あくさそんほぶ
ゐへぐまへぐものくあしらひしてこのんぢぞうゐるうんしぶかりもかる
うちぢいしも　ハイヤ　ちるさんいちちくこるゐ〜ぜてこ。おきゆく
ぢゐちおんうぞれよ今時ぶ。ちんぜこるいるホホこりや合点
ぐいんよいぞぞやゐ〜。ちるさんうちのちうそぶり。
うさんうぞんぐおちひちうぐぶ。りや讃ケ（こま）のちんぶぐや
ちんうぶ。ぶぞゐ〜こ。ちうしめうはりうおりやうホいいつ
ぢ（世界）イヤぞれぢうしちゐやぞぞうちんぶ。大〜ことるさんう



はなしとかうこりんでちなんぜ地蔵さまのかたるア
うちかいこ。リヤ　ヨーどもが村で。今度建てる地蔵
きるじや。昨日きんのこ石屋どのうけとつてあしたあく
ちまくしてもさまへおさあみやちやぬが。お宮がうけて
ちつていうれぬ。ものそとうまどろせ人　近所の人ぐ村のおさへ
おさあの地蔵さまくしたがるようちつてこうしてこうしてこうし

いのやせうへ[庄兵衛]さいかんでゞゐるりんじゃ[臨時]ゞゐもゝ
おさろうかぶ。今はさろちぶとふまごついとおつこと
いつゝとけへ。ツイ[追]ゝ送るきてはし[柱]のおちくぶうろえき
のでゞぎうやさと[界]ナニ[何]ゝ送るよきゞイキちゃさるさんハ
らハけりんじゃゞごこの面ふう。石地義さるの面ゞ送ふ
まて。ゞゐるはりゞゃ[張]いゞゐゞゃゞろくるおゝ
ぬうしゝ[牛]ぬ[牛]コリヤこんゞ[婆]弟ふあゝとゞぶ[法]さんく
トよびろう。せんてくより。法ゝ[法]ゝまハ。ちぶてゝ[茶]ゝ
ゝまゝゝゝとよろゐろうがかふい時分ゝゝ[茶]ゝ一コリヤゞるゝも

おさのぐくる。おゝゝアるろちぶうは合。うろんるりの
ゞゐゞアゞぎうゞゃせぬ。ゝゝゝけんゝゝあうてゝんなせんゝ
地義さるの鼻ゝゝゆうゞかけてゝいひちさろぶゞふゞ
るろちふりんじゞあゝゝゞハゞゞゝゝゝゝゝゝゝ
ゝとゝゝゝゝとゝいひちゝゝゝゝゝゝゝ

りよわ〳〵。きりく〳〵いきくさおさまりるゆでいまごと
和のあくるあハわゞもあらんとめん〳〵祝ごとおろふ
きいりくるが。きぞ〳〵くあうて。そや一だん鶴の生に
ろくるあゝぐ。るのいるきおりてふきとへ。法〳〵きへ
きこハいこだあ見出ておこるなこのへやゞてはゝ西くと
こちいづるとて

やう〳〵きゝ海ゑもさうれ。のうん
まかのうやこへ　四日　市ちう

なれより清田村を出ぞ。赤坂あさ〳〵かうろふ
ぶらう、こ法華ふ祝〳〵。男女ちぜ石。とてうこおけじん
あうまうこうろハ。ゆるゆあやこ。法〳〵こへ小八も行ゆ
ゆう。ある軽石よ向ひて一モ〳〵。ゆでぶきりやきこ
きぞ〳〵あれ見さろせへ〳〵ん会でもこうやきとうへイン
天蓋ちの隙茶屋さゆが。業名へ〳〵いてうふひ。こあう
のゞ。今こ〳〵ここここうせるかゝ。ゆかへ
見へうく　トはけぶんぐ人あ〳〵きけくゆへ清中とおかく
まうきこ見よ村のゆこをこゆるのゞうこおしこそいづめも

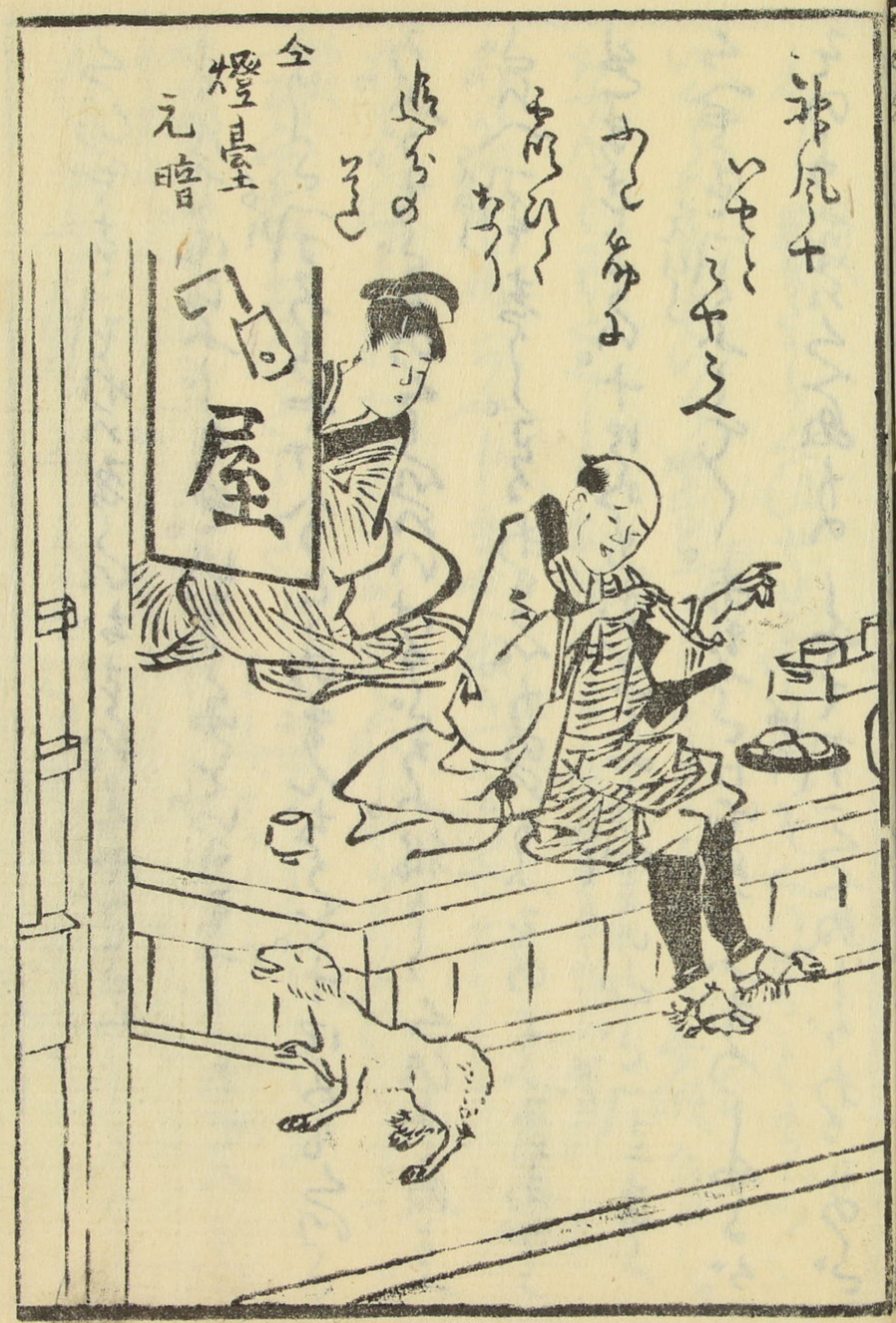
大ぼん（こう中）
ぼて　一ぱア　まアぐアく　一ぱア　ことゆく　さるア。めぐることの
ぼやア　ぼ　ぐ　まぐごとぐ　一ぱア　まアぐアぐ　一ぱア　のりを
りんていく　ゆりのつくアアまろく。ちゑの　ぼ　つくぶぜ
一ぱア　おさるぜんかとれへく。ぜんかい　海中　ようき　畑へ　出ぜく
くりぶ　雨の　天ぎる　晴　ぜ　海　ぜ　ぜ　ぜ

十郎をとりあ〜ちやぐ〜のくるまぬ
あつ〜〜〜くちぢよ　風をひうせ〜
かくよく〜さて〜。ぢ直ちどもいわぐ〜ぶ。さ長〜くも遊ぶ
あつ〜〜。はるの三月。まんぢうの名おあり。お俵
ちやさうまアせ。あつぶ〜まんぢうのぬ〜くんのとあぐう
まアせ。おぞうにもぞうまアを右衛門のむとあぐ
う〜〜〜〜かぎやのいふぢよくめうもあんきうう
らーんトちや屋はまえ入はをりる。おちやアあぐうませ。まん

ぢうもやうしてゐよ。今あげます。トヤぞうんはうてきる。
はうもとんぴ〜うまのうとゐんて。やのこのうよ。ちうえひとのそん　ゐんとひう
ちう〜〜〜るおう〜〜おちやぢ〜このちやを五はやさ〜ぞうふもちをくんひうる
ゐんて〜はんぢうとゐんまの。〜ぢう〜やうう〜ぢうぢうをいるあぐ。
おめ〜も為ぞうらんぐ。ぢう〜ぢうげんはまちまをえ〜〜あま
さぐさアおあぐうる。〜さやうさ〜〜〜ちもおあぐ〜いる
附本丁のあ間のまんぢうとかけぐ〜そ二本八分と
そ〜ぐぞうはしさぐ。めかぐぐうるまめぐや〜ぞうういい
ぢうちうぐ所間ぐうう。まいやちぢうけふ。ゐいはちうい

追分名物膠煎
日々藥屋皮類和
漢膠價高ク好味
元是綿中砂羊遣

古歌追分膠煎
尾張
量高味噌



仝
燈臺
元暗

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さくちやせへこんるちひさるかのへいらうでもらかるえいイヤ
そこへまつりませぬ。ちう。ヨさてもあまうざん
祝んる。ナヲだうえでてんまませう祝十二十ヲぐんニ平
らひちやせへそのくう。ひとつものこさどらひなまちつさ
ちうべ。まんぢうのけいりちろん和ふ百文。金ぜにめへ
お初尾とあげやせう。えひ〳〵やありがてんぷのうへ
あげてんまませうトまんぢ〳〵二十〳〵よせ〳〵でかりく〳〵見てだう
ぬうりるがやがてらひうしぷうりく十ヲ平
ちりく〳〵のとうさらけてちりんえもそぶちびえコリヤおうるく

えひ
もやくのうもう。祝ぜんぢうハさしひのておちうとの百
まんぢうまませ祝今あげやせう。ちうあいまうえんで
ぢうう。りんニ十らひちませへ。今度ハおちうと百文
あげやせう。その文ぜ。ハ祝〳〵とつちへ武百ちうつこ
ぢが。ぢぢ〳〵えひおりろんく。ハも歌祝のさうう
まで。あけてんまませう祝サア〳〵今度ハ祝げんなまぢちうも
ぢ百。そこへ出しておきるトハ祝〳〵ちうもうをつぶぢしおんでも
つけてそうきまるうよりやりんらんめ祝そこへれこおちうとの百文ふ利を
二十ぢうよせこんひらへきやりやいるや。このしびへなんのうもなく。こそち

まちこがれて待まひるまでおあくこんぴら
の方へとてもあくびくして　「これへあらうぞんまんぢうの代も
あろまちうかうめこやまをと。ふ〜〜おひげひいちざう
さふあべうまし〜ぷいゆるまて〜これホトおこれむこと
とも見ぎこそ出ぬ　ふるホハ　ふ〜〜　大うこちんな　〜ふちろふく
ほうりかく〜いまく〜しれわるあいまやアがと。たしじめめ
百がおし〜ちのそ。うへのうとと〜ふぞうこそ。ト此内ちの
うごうたぞく〜「ぶんるういおかるいう　ちゆりませぬ
くきこうて　「ごぶじやア　稲へ見られわふあうと。まんぢうの　くひ

でうことをして　銭（ゼニ）　百〜でそ〜れ　ぢこ八〜ア　今のこんぴら
めぐやみて　死めいおるいるふう　をしてあるぢりや
大津の　釜（カマ）　そ〜ふ。ふ〜ふ〜ふ　ぢ〜ぢ〜ぢ　ぢ〜ぢ〜ぢ
ぢ〜も　坂の　上で。りちめこひて　〜〜で。七十八〜ふ〜ふさ
〜ふ〜ふ　せて。　鶴の　人　ま　ち〜ふ　せ。　ち　ち　べ　う　ん　る。　さ　す　人
さ〜〜ひこえで。う　せ　あ　つ　て　ら　ふ　よ　て　じ　や　が。　ま　形　も　一　い　た　ふ
ま　あ　〜　ま　さ　ふ　せ　て　こ　の　ふ　〜　〜　は　ま　ま　ち　の　せ　ま　ち　の　こ　と　も
ち　ち　て　ふ　ひ　る　ぐ　〜　ち　ん　ぢ　〜　を　三　つ　四　つ　べ　く　ま　す
は　ち　ぐ　ぢ　ま　〜　「ハイ　ぶんるさふ　ぬ　け　ま　い　ち　ホ　は　出　ち　う　ち　ち

コレハ　コリヤ　はめへさちやア。そのまんぢうを。進ぜうつかへ
コリヤ　はあ〜で。こんぴ〜まいらうめ人が。被うゝ出てられ
まゝ　ま　そんちゝ。おいらうめがゝつかへ出せやア
ぐ問て。おいゝをぐゝゝ。まやアがつこうぃまゝ〜ん
ぐつらけてぶちのめそふ　はいるる。おいゝも神をうぐ
かんゝてゝりるせへ。えるろちがまぬけごゝらよゝゝ
ぜ　それごゝうてあんまりどうがあるゝ　ゆよ　の海りで
おれとをつゝ　はめよあいせ。そのむらひゝとおりひ

ちるせへ。あんホいつぐうさゝしゝぶ
はをび　はを人へよ。進ぜ　おひうり　初尾　そうれて
あんのおらちるる
はを　おりろくも　神へ　まれ　まんる。もゝ　まんぢうの代へ
いくゝぐ　神へ　のゝゝざ　メて。銭百　二十　文でごうう
まると　はを　せうとてぐ　神へト　ぐゝ　ぶんる。まんるを
ぶや　まくめてくぐうまう　いや　さうる　で
まいりませう　きまる　酒　とのむう　ハイ　さけへと　で

一鉢ざけとかさうまきを酒のさうさうまきを
ぐ。ぎ。ぎ。ぎ